

2022年4月28日

各位

会社名 日本高周波鋼業株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤井 晃二
(コード番号 5476 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役常務執行役員
総務企画本部長 村越 久人
(TEL. 03-5687-6025)
当社の親会社 株式会社神戸製鋼所
代表者名 代表取締役社長 山口 貢
(コード番号 5406)

連結子会社における事業再構築に関するお知らせ

本日の取締役会において、当社の100%子会社の高周波精密株式会社(以下、高周波精密)について事業再構築を進めることを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 事業再構築の背景・理由

高周波精密は、主に自動車部品用の金型などの設計・製造・販売を行っています。

今後の自動車はエンジン車から電気自動車(EV)へのシフトが急速に進み、同社が得意とする駆動系関連部品向け金型の事業環境は大きく変化することが想定されます。

このような環境の変化に対応するため、需要に合わせた事業規模の縮小と人員体制の適正化を図ることとし、同社の従業員を対象とした希望退職者を募集することといたしました。同時に、グループ内のリソースを最大限に活用し、早期に安定した収益構造を構築するため、鋼材の加工・販売を行っている子会社(株式会社カムス(以下、カムス))との統合・移転の検討に着手することといたしました。

2. 事業再構築の内容

①希望退職者募集の概要

次の通り希望退職者を募ることといたしました。

- | | |
|-----------|---|
| (1) 募集対象者 | 高周波精密の45歳以上の従業員 |
| (2) 募集人員 | 60名程度(社員数2022年3月末現在108名) |
| (3) 募集期間 | 2022年7月1日～2022年7月29日 |
| (4) 退職日 | 2023年3月末 |
| (5) 優遇措置 | 退職者に対して割増退職金を支給することに加え、希望者に対しては再就職支援会社を通じた再就職支援を行います。 |

②統合・移転

高周波精密(千葉県市川市)の金型・工具事業を、当社の100%子会社で特殊鋼販売、熱処理等を営むカムス(群馬県太田市)と組織・拠点を統合し、鋼材加工の一貫体制を構築することとし、具体化を進めてまいります。

(1) 会社統合の方法：会社分割を予定

分割会社：高周波精密(当社100%子会社)

承継会社：カムス(当社100%子会社)

(2) 会社統合の時期：2023年4月1日(予定)

(3) 移転時期：2023年10月1日(予定)

高周波精密の市川事業所を、カムスの北関東事業所に移転集約する予定です。

3. 今後の見通し

希望退職の募集に伴い発生する割増退職金等や、統合・移転に伴う移転費用等につきましては、発生年度に特別損失として計上する予定ですが、具体的な影響額については未確定であるため、業績に与える影響は、確定次第速やかにお知らせいたします。

※両社の概要紹介

名称	高周波精密	カムス																							
所在地	千葉県市川市東浜 1-1	群馬県太田市植木野町 328																							
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 植山 浩	代表取締役社長 小金澤秀男																							
事業内容	金型及び金型部品、切削工具、耐摩耗機械部品等の設計・製造・販売	特殊鋼の販売、機械加工、熱処理、表面処理																							
資本金	4 億円	3 億円																							
設立年月日	2001 年 5 月	1992 年 2 月																							
大株主及び持株比率	日本高周波鋼業 100%	日本高周波鋼業 100%																							
直前事業年度の財政状態及び経営成績	2022 年 3 月期																								
	<table border="1"> <tr> <td>純資産</td> <td>594 百万円</td> </tr> <tr> <td>総資産</td> <td>2,058 百万円</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>1,489 百万円</td> </tr> <tr> <td>営業損益</td> <td>▲11 百万円</td> </tr> <tr> <td>経常損益</td> <td>▲5 百万円</td> </tr> <tr> <td>親会社に帰属する当期純利益</td> <td>▲7 百万円</td> </tr> </table>	純資産	594 百万円	総資産	2,058 百万円	売上高	1,489 百万円	営業損益	▲11 百万円	経常損益	▲5 百万円	親会社に帰属する当期純利益	▲7 百万円	<table border="1"> <tr> <td>純資産</td> <td>327 百万円</td> </tr> <tr> <td>総資産</td> <td>3,588 百万円</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>5,302 百万円</td> </tr> <tr> <td>営業損益</td> <td>81 百万円</td> </tr> <tr> <td>経常損益</td> <td>71 百万円</td> </tr> <tr> <td>親会社に帰属する当期純利益</td> <td>44 百万円</td> </tr> </table>	純資産	327 百万円	総資産	3,588 百万円	売上高	5,302 百万円	営業損益	81 百万円	経常損益	71 百万円	親会社に帰属する当期純利益
純資産	594 百万円																								
総資産	2,058 百万円																								
売上高	1,489 百万円																								
営業損益	▲11 百万円																								
経常損益	▲5 百万円																								
親会社に帰属する当期純利益	▲7 百万円																								
純資産	327 百万円																								
総資産	3,588 百万円																								
売上高	5,302 百万円																								
営業損益	81 百万円																								
経常損益	71 百万円																								
親会社に帰属する当期純利益	44 百万円																								

以上